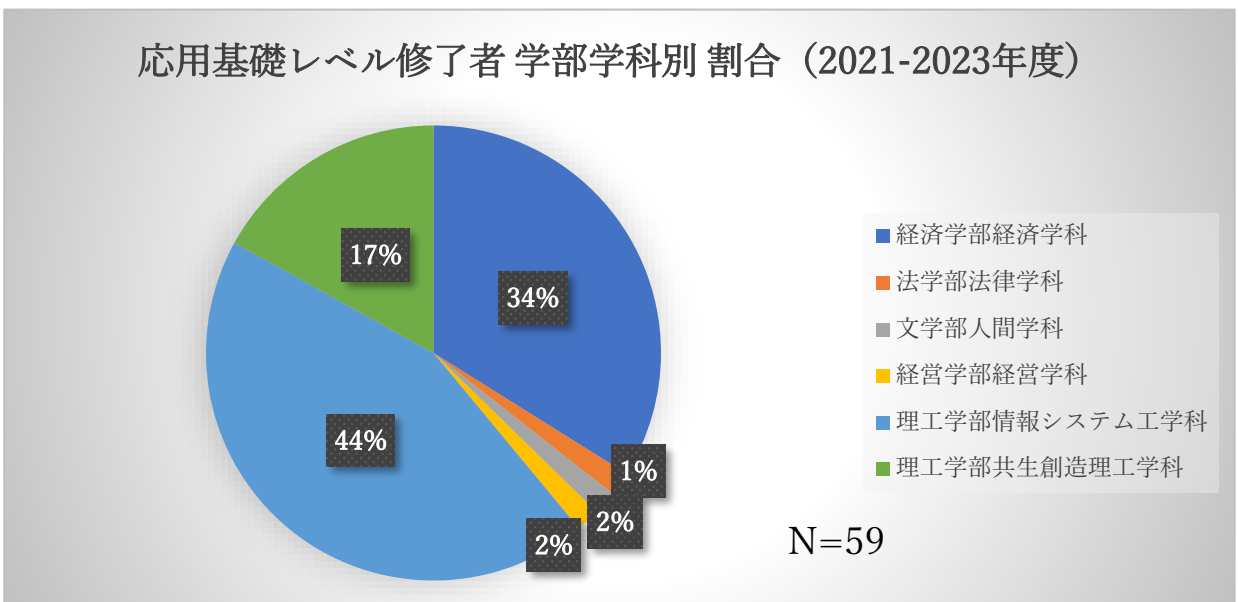
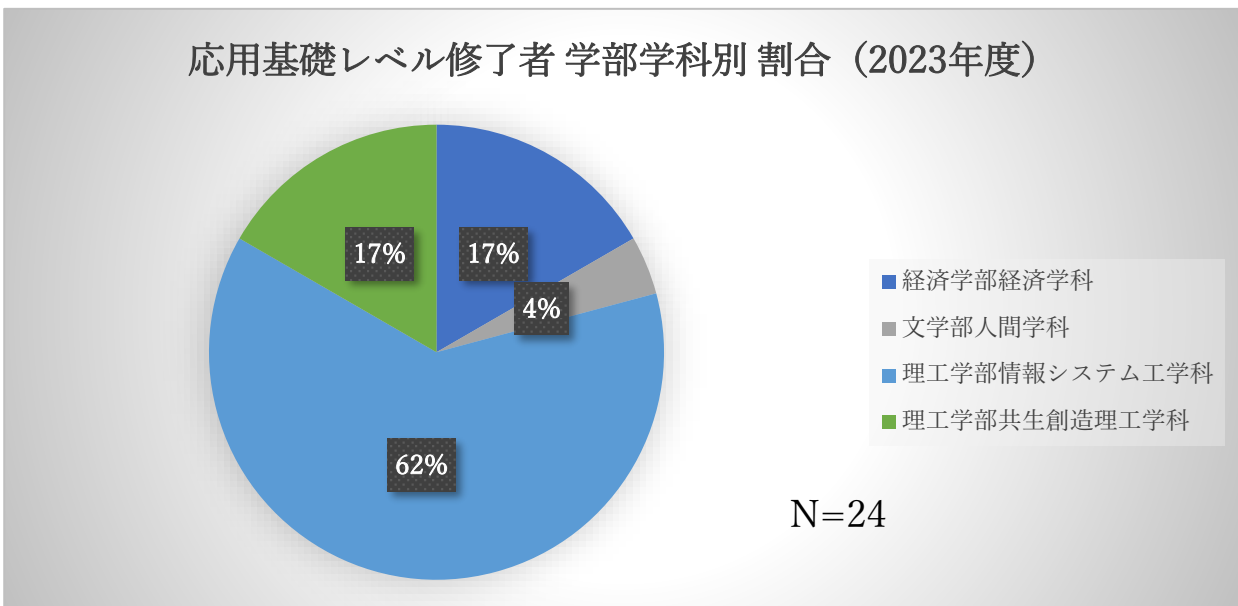
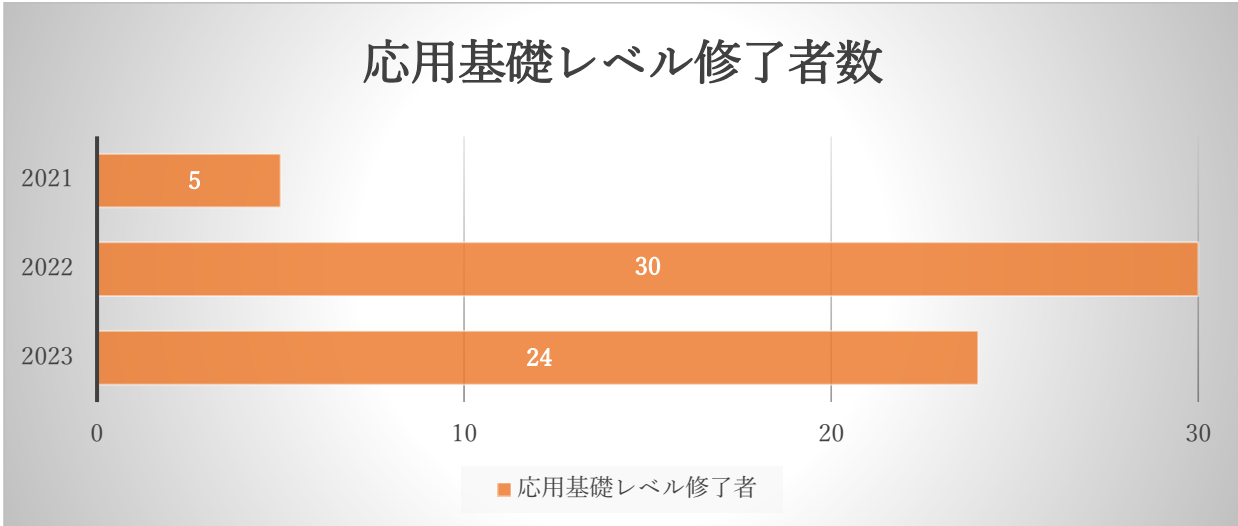


1. 「応用基礎レベル」の修了状況について

2021年度～2023年度における応用基礎レベル修了者数について、下記の表にまとめた。



応用基礎レベルの修了者は、現在の修了要件（「AI 基礎」「データ・サイエンス」の単位修得）に変更した 2021 年度以降、累計 59 名となった。そのうち、2023 年度の修了者は 24 名であった。

学部学科別の割合では、2023 年度において、情報システム工学科が 62%と最も高く、次いで、経済学部、共生創造理工学科が 17%、また文学部からも修了者を輩出できた。

2021 年度以降の総計では、情報システム工学科が 44%と最も高く、次いで経済学部が 34%、共生創造理工学科が 17%、法学部・文学部・経営学部からも修了者を輩出している。

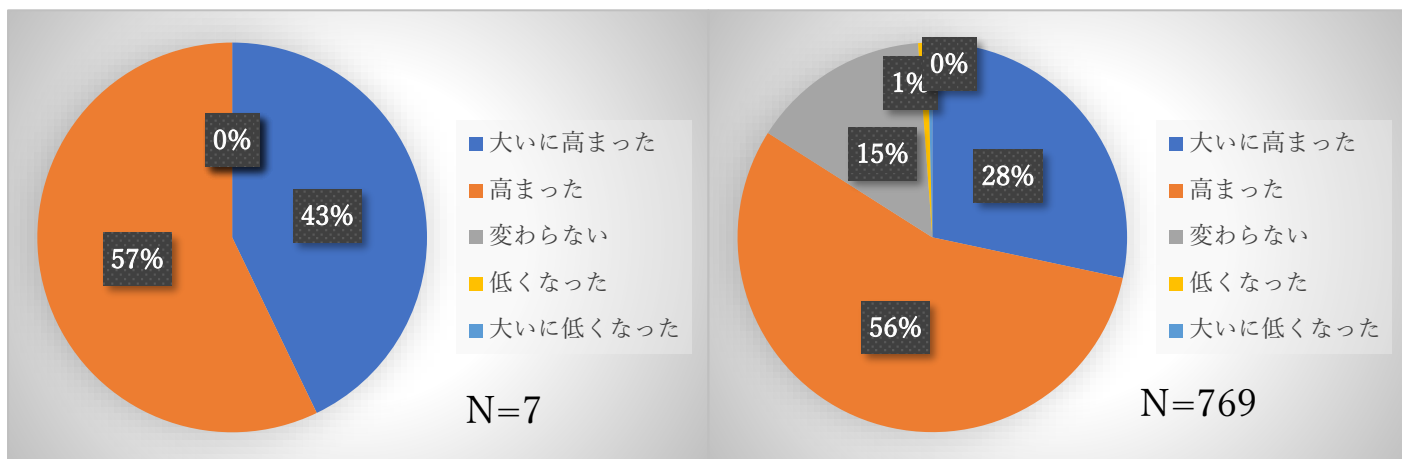
## 2. 学生アンケートを通じた内容の理解度等について

応用基礎レベル修了者の学修成果を測る 1 つの方法として、学生生活アンケートの以下の設問の回答結果をアンケート回答数に基づき、修了者と未修了者と比較した。

Q.入学時に比べて、あなたの以下のような能力や知識はどのように変化しましたか。

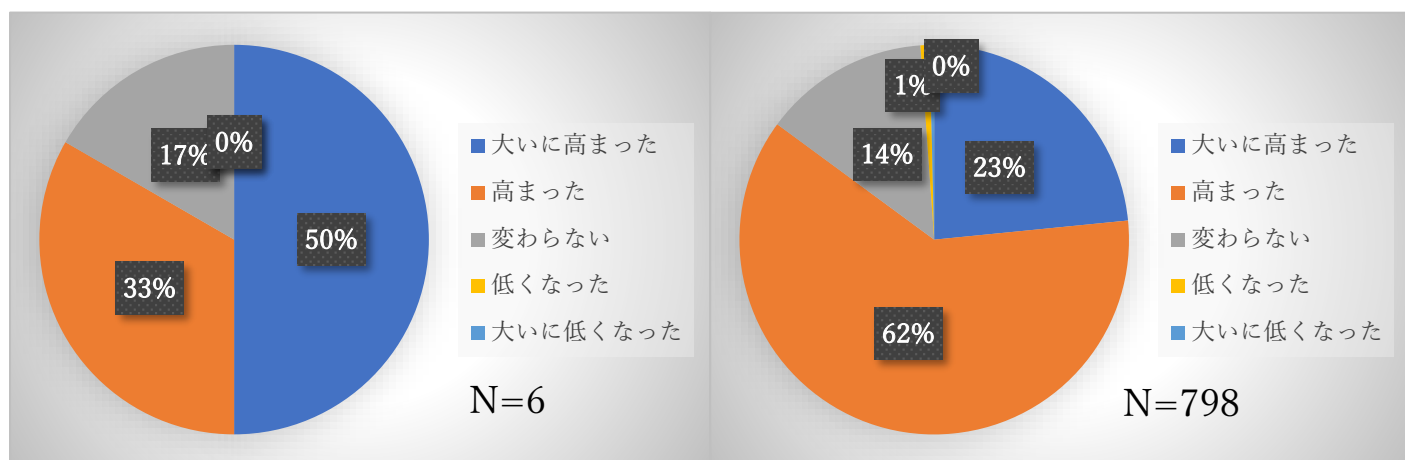
### ●情報や知識を分析・表現できる論理的思考力

(左：応用基礎レベル修了者 右：応用基礎レベル未修了者)



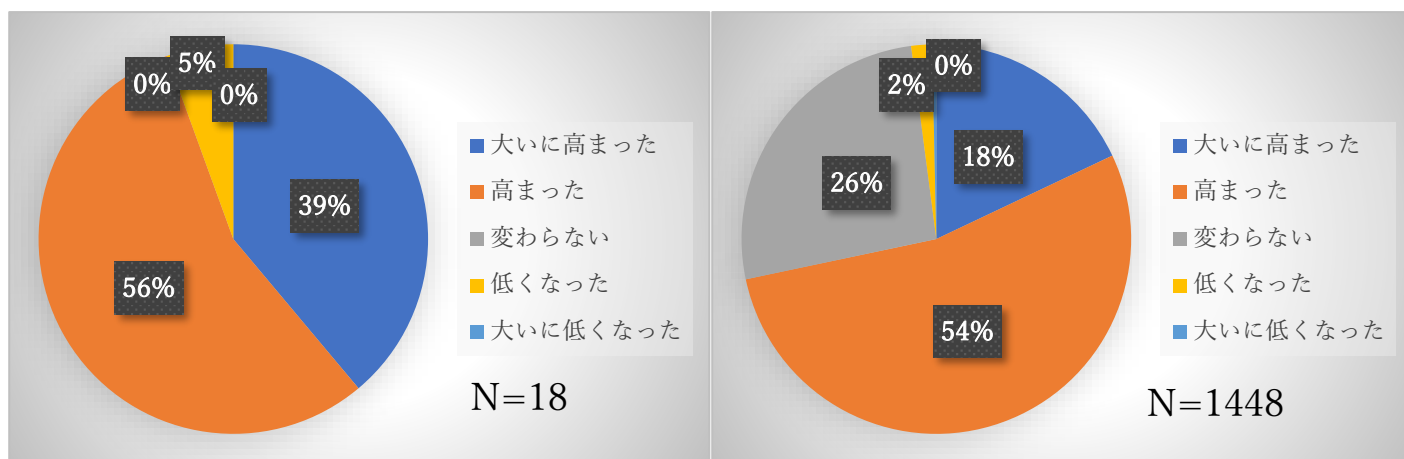
### ●問題解決に必要な知識や情報を適切に収集し、活用する能力

(左：応用基礎レベル修了者 右：応用基礎レベル未修了者)



● データを的確に整理・分析し、その傾向性などを表現できる数理能力

(左：応用基礎レベル修了者 右：応用基礎レベル未修了者)



全体的に、応用基礎レベル修了者の方が「大いに高まった」「高まった」の割合が比較的大きく、応用基礎レベルの学びが一定の影響を与えていることが推定される。

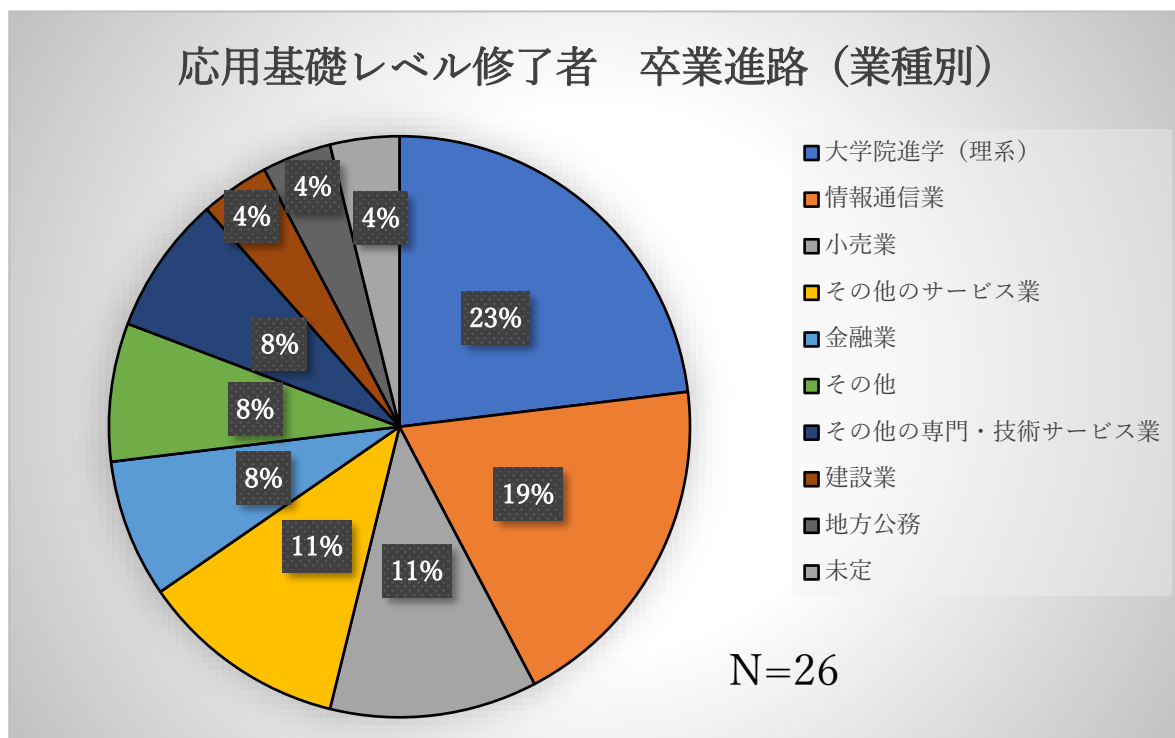
(ご参考)

・ データを的確に整理・分析し、その傾向性などを表現できる数理能力：

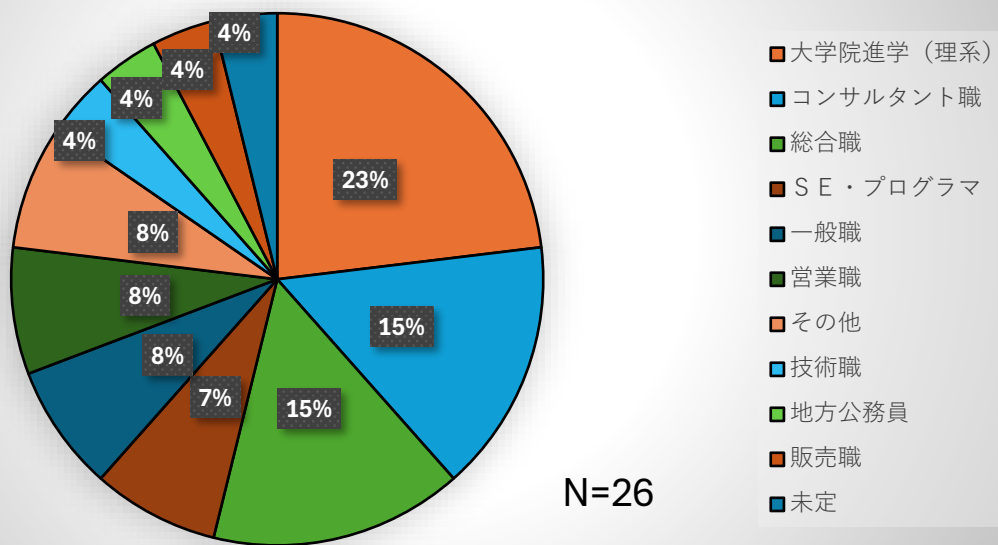
応用基礎レベル「低くなった」=1名(5%)

### 3. 修了者の進路状況について

応用基礎レベル全修了者(2022~2023年度卒業生)の卒業進路について、下記の表にまとめた。



## 応用基礎レベル修了者 卒業進路（職業別）



業種別では、「大学院進学（理系）」や「情報通信業」への進路先の割合が比較的多かった。

また職業別では、「大学院進学（理系）」「コンサルタント職」「総合職」の割合が多く、「SE・プログラマ」や「技術職」に就職した卒業生もいた。